

# 3学年通信

## Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

3 学年通信 No.74 通算 254 号

2018. 1. 12 (金) 可能性 ∞

Dreams Come True 40 2018/1/9 -11 Y山

そういえば1月8日は成人の日でした。身内に新成人がいなくとも無関心なものでしょうか。センター試験も同じかもしれません。我が子同然の諸君が受験するのでいつも冷静な私がトクメイテいるので、あの超クールな土井先生ですらそうでしょう。また保護者の方も尚のことでしょう。このような「はれのひ」を目前にした諸君が、真剣な面持ちで頑張っている姿を見ると頼もしく思えます。2年前までは鼻を垂らした1年生だったのに…。そんな子は今時小学校にもいないらしい。では、いつものように現状と全く無関係に話を進めてみようと思う。いわゆる「補色の話し」かね？

昭和40年代、あの頃は今より雪が多かったことを思い出します。家の2階からスキーできました。除雪車が少なかったのでしょうか、朝小学校への道はいつも膝の上まで雪が積もっていました。ですから集団登校は「雪をこぞく」ため極めて合理的な形態でした。一番前をこぞく上級生が頼もしく見えたものです。一応補足しておく。「こぞく」は雪を踏みしめて歩くという意味で、ロシア語の「コザック」に由来する方言だと思います(勝手なY山推測)。またキン！と冷えた朝は「硬雪渡り」をして学校まで一直線に歩くことができました。途中、米坂線を横切ることになるのだけれど、先輩が線路に耳をつけて「来ない。渡れ！」と身を挺して皆を守ったものでした。線路で思い出したのが踏み切り。降りた遮断機にランドセルを吊るしておいて汽車が通過。そのまま遮断機の根元へ…という悲劇もありました。そんなことは高校生になってもやっていて「駅で下ろさないゲーム！」とか。それは降車駅に着いても羽交い絞めにして降りさせないという単純なゲーム。一体、私達は何をしていたのでしょうかね。また、眠りこけて羽前椿や小国まで行ったこともあったかな。流石に坂町は無かったけれど。列車通は不便もあるけれど楽しみもあり出会いや連帯も生まれるのです。JRさんのために書いておきます。この話は全てフィクションです。さて、また小学生に戻るかな。冬の遊びといえば野球。雪上野球。ボールを赤く染めてね。ホントみ～んな野球少年。朝学校が始まる前にグラウンドで野球して、昼休みに体育館で野球してガラス割って、学校が終わると田んぼで野球。サッカーってマイナースポーツだと思っていたあの頃。お気に入りのプロ野球の帽子被って。クラウンライターライオンズは1年きりだったから今ならプレミアムかもね。あとは週一度のスキー授業。重たいカンダハースキーと皮ブーツのリュック背負って、母親から背中にタオル入れてもらってオニギリ持って三本松スキー場まで何キロも歩いたね。ピステンなんて無いからみんなで踏みしめてグレンデ作りに2時間。そしてロープトウ。ここのはTバー付いていないので乗れるようになるまで大変。転んで転んで手が痺れてクタクタになって。しかも手袋は軍手か編物なので指先冷たくて。素手のヤツもいたから凄いな。昼休みは「小屋」でストーブ囲んで濡れた服や手袋乾かしながら麦茶飲んで玉コンね。今もスキー場で食べる玉コンが一番好きだな。二番目は足湯に浸かりながらの小野川かな。三番は自分の作った玉コンだな。年末最終日、登校した諸君

に振舞ったけどワタシの玉コンは絶品だと思う。米興で10年作れば、それは上手になるものですか？そういえば最終日イブは渡部ひろみ先生からトン汁とウドンを頂きました。その前はイツミ&ミホ先生プレゼンツの煮タマゴ、ダイスケ先生のオデン君、ユウ先生の合格ミカン etc. 毎週何かしらイベントを開催して皆を元気づけてくれた先生方に感謝です。センター後も週末何かあるかもよ。

ではここで大学入試のシステムを確認しておこう。センターだけで合否が決まる大学は1つも無い。どの大学もセンターと2次試験の合計で決まるのだから、マラソンで言えば折り返し地点に過ぎない。このことは肝に銘じておこう。センター命！と目を三角にして臨んでもあまりイイことは無い。

「テンパルと神が舞い降りる！」という人は別だけど。命がけで好きになったら恋は成就するか、と同じで逆行く場合のほうが多いよね(経験上?)。入試は「学びの成果発表会」のようなもの。だから普段学校にいるときと同じ気持ちで臨むのが一番イイに決まっている。いいかな。センターセンターと過剰に意識しないこと。明日もまた今日と同じ一日なのです。といっても気持ちが乱れるのも事実。そんなとき効果的なのは「イメージトレーニング」です。今から明日明後日、そして月曜日までをシミュレーションしてみる。ではY山バージョンで(思い出も含めて)書いてみよう。

今日の激励会は先生方や後輩から勇気と元気をもらった。最後のHRでは「\*\*先生」が初めて優しい言葉をかけてくれた。先生も人の子だったのね？と嬉しく思った。放課後は部活の顧問の先生と久々に話しをした。私のことを心配していたようだけど「笑顔でがんばれ」と言ってくれた。今日も大多は19:30まで開いているらしい。ホント先生方には感謝している。でも今日は早目に家に帰ろう。こんな時間に帰るのは久しぶり。途中、お店で明日の飲み物とお菓子を買っていこう。明日の終了は19:00。お腹すくのは耐えられないから多目に準備しておこう。色気より食い気よ！山大に持参する教材も揃えたし、さあ帰ろうかと教室を出るときロッカーに「ZIPファイル」を置き忘れたのに気がついた。セーフ！危なかったわ。ついでに「立鳥跡を濁さず」を思い出したので、ちょっとだけ机の上を整理して帰ろう。あら\*\*チャンの荷物は相変わらずグチャグチャね。さすがO型だわ。家に帰ると夕食はいつもよりご馳走みたい。私の好きなものばかりだわ。お母さんアリガトウ！どれどれ明日の確認をちょっとだけしよう。日本史はミホ先生が「ハニワが出る！」と言っていたけどホント出たらラッキーだわ。国語はイツミ・ユウ・タツペイ先生から教えて頂いたので現文古文漢文ともイイ気分。英語は芳賀神社のユミコ様とちょっと\*顔のオチアイ先生や新婚オノロケのコージロー先生、そして内緒だけど大好きなイマイ先生から教えて頂いたことを落ち着いて解けば大丈夫。明日の準備もできたし眠れそうに無いけど早目に寝よう。即mmmと爆睡。朝いつものように除雪車の音で起床。いつものように生ハムメロンとトーストとコーヒーの朝食。おじいちゃんが「軽トラで送っていくかい？」と言うけれど今日は電車と決めている。いつもに増して元気な声で「行ってきま～す！」と挨拶して出かける。いつもと同じ電車でGO。ホント電車は暗記に最適。揺られてmmmとなりそうときAちゃんから起こされた。セーフ！危なかったわ。小国まで行くところだった。Aちゃんアリガトウ。センターの恩人だわ。南米沢駅から集合場所のブルーノートへ向かう。ブルーノートは学年通信にブルースやジャズに特有の音階と書いてあった。きつと「調子乗らないで半音下げる程度に落ち着いて受験しろ」という戒めね。流石Y山先生。伊達に\*\*ちゃいないわ。大人になったらジャズ喫茶の似合う素敵な女になって逢い行かなくちゃ！先生方から激励頂いて山大に向かう。途中「かんばってね！」とか携帯電話会社の人がチラシを手渡すけど「NO！サンキュー」って外国人のフリして断ったわ。今日のために頑張って準備してき

たんだもん。悪いけど余計なモノは持ち込みたくないの。今日は超マイマザーな女を生きるのよ！学内に入るのに受験票がいるってユードアイ先生言ってたわ。私はZIPファイルの外から見えるところに仕込んでおいたので安心。でも写り悪いわあ。私もっとカワイイはずなのに。まあイイワ。受験終わったら女を磨いて大学デビューよ。あらS君受験票忘れたみたい。やるわね。でも本部で再発行してもらえるから大丈夫だよ。今日は我儘な女なのでS君無視して控室へGO。今日はこの席にしよう。風水で南西がイイって言うっていたから。そして最前列。一番落ち着いて過ごせるのはココだと私は大多で学んだから。今日はどんなイケメンにも目をくれないと心に決めている。私は私の白馬の騎士と大学で出会う予定なのヨン！と妄想していたらK君が「おはよう！」だって。白馬の騎士とG組のKって紛らわしい！でもK君おかげで笑顔になれたわ。そうね。こんなときこそ挨拶は大切ね。最低限はやらなくちゃ。でも見直したいプリントあるから自分の世界に没入タイム。9:00。もうすぐ地歴公民の130分。ここ長いからZICO先生が「トイレいっといれ！」と教えてくれたので行っとく。最初の試験。ちょっと緊張。問題冊子を渡されてから開始まで長い。机に置いたまま問題冊子を見るのは自由なのでガン見する。うーん。なんか京都で見たような仏像ッポイ。イングロ先生の微妙な笑顔を思い出す。笑っているか怒っているのかわからないあの笑顔。開始で直ぐ解くのはアカンと教わった。人は最初が一番間違えやすいので慎重に入る。アラアラ結構いけるわ。10分のインターバルで公民。これも案外スラスラいけた。入りはまざまざ。控室に戻ると他校の同級生Rちゃんが「どうだった？」と話しかけてきた。これはマズイ。米興生は「終わった試験の話は一切ご法度」というかん口令が徹底しているからいいけどこれはピンチ！そこで「外でご飯食べるからゴメンね」とやんわりお断りして受験場で昼食することにする。結構ここ静かでないんじゃない！と食べながら古文&漢文の見直しもできた。これもRちゃんのお陰。ありがとう！受験中は万事前向きに捉えるようにと教わった。そういうことね。気持ち乱してイイこと無いもの。さあ国語。思ったより難しい。焦って天を仰ぐと「難しいときは君だけ難しいんじゃないよ」と受験場の天井からハラダ先生が笑顔で語りかけてくれた。流石先生、天井裏に隠れ住んでいたのね。米興愛が半端ナイと思ってはいたけどね。原田先生ありがとう。落ち着いた。平常心で解けたからよし。お腹すいたのでパン食べよモグモグ。次の英語はアクセントを確認すると決めていた。やっぱり受験場のほうがいいかな。今日は絶対迷わない。自分の心の決めたままに受験場へ移動する。他者への気配りなどいらない。好きなものをドンドン食べなさい。とダイスキなダイスケ先生が教えてくれた。きっと\*\*仲間を増やしたいのだろう。けれど一理ある。ありがとう。没入できる！英語も難しかった。みんな難しかったのだろう。振り返らない。私は前しか見ない女。お腹がすいた。マンジュウ食べよう。アンコ上手い！次のリスニングに向けて会話文見ておこう。今年は誰が登場するのだろうか。「世界のオハラ」だったら笑ってしまいそう。機械の故障も無くリスニング無事終了。もう18:30外は夜。ほぼ12時間、気持ち切らさず体調崩さずよく頑張った。お父さんが車で迎えに来てくれた。「お疲れさん」と一言。車内で何も言わないのは父の気配りだろう。家に着いたとき「ありがとう」といつもよりちょっと笑顔で微笑んだ。それにしてもお腹すいた。今日もご馳走だ。お腹一杯食べた。今日の結果は気になるけれど、調べて自己採点しても何も変わらないことを知っている。私そんな\*\*な女じゃないもの。でも今日は眠いな。明日朝早起きすることにして風呂に入って寝よう。「お母さん、朝4時に起こして」とお願いして10時就寝。爆睡。朝は案外スッキリ起きた。出かけるまでの2時間、理科基礎と数学の復習をした。今日も体調万全。これに勝るもの無しヤデ！と自分を奮い立たせる。本当は結構不安。だけれど、もう自分で立たな

きゃならないとき。努めて笑顔で家族に「いってきま〜す！」と昨日より元気な声で挨拶して家を出た。今朝もブルーノートには見慣れた？先生方が出迎えてくれた。先生方もなんか眠そう。昨夜は飲んだのかしら？ここで元気一杯もらって山大に向かう。理系の人は少ないな。数学からだからゆっくり来るんだろう。私たちは朝イチの理科基礎から。地学はユードアイ先生からあのダミ声で2年間仕込まれたから大丈夫。生物も落ち着いて解けば大丈夫。だって私にはマサル様がついているもの。「人生のたった1コマのこと」と教えて頂いた。すごく気分が軽くなったわ。その1コマに全て出せばイイのだ。理科基礎は無事に終了。試験官の方々も最初は怖そうに見えたけど「大丈夫？」とか「不明なことがありますか？」と気配りしてくれる。ほとんどが山大工学部の先生や職員の方らしい。私たちを心の奥で「ガンバレ！」と応援してくれる感じがする。でも終了の「止め！」と言う声にはドッキリする。直ぐに鉛筆置くように言われた。でも、よくよく考えれば当然よね。どっかの会場だけ1分長かったら許せないもの。全国を受験生が公平公正に受験するためには必要よね。そんな事情を考える心の余裕もできたわ。次は数学ね。実は私一番不得意なの。数学。しかもY山が「俺が担任した年は数学が難しい」というから尚更。でも、その後こんなことも言うていた。「平均が40点のときは、自分が30点だったとしても10点のビファインドだけやで」と。そうか、苦手な教科は難しい方が私には有利ね。そう思ったの。数学は選択肢から選ぶのでないから誰もが焦るって。だから、焦らないで1つ1つキチンと解こう。Y山が言うように「まず左半分」それで半分の50点でイイくらいの気持ちでね。あと去年の模試で数学Iを解いてしまったから、「数学IAは冊子の途中からが鉄則！」とニコニコしながらヒデカズ先生が言うていた。そこだけは気をつけようっと。最初はミス多いから慎重に解いて、Y山セレクション「これだけセンター」や「米興マーク模試」に似ているものあって半分+αは手をつけたかな。私にはこれで十分。そして次がラストの数学IIB。いつものように「解けるところを取る作戦！」でいくと決めているから。難しいけれど私が解けるところは手をつけたので良し。これで全日程終了やったー！という開放感で問題冊子を忘れそうだった。危ない危ない。自己採点できないじゃない。もう一度、今日の問題冊子を確認してZIPファイルに入れて、スマホもあるし時計もある。よし忘れ物無し。山大を出るとまだ3時。早や！恩人のAちゃんにお礼しなきゃ。コンビニで肉まん買って2人で駅へ向かう。お互い「無事受験できてよかったね」と称えあう。始業式で横戸校長先生が「当たり前のようにですが、皆とこうして新年を無事に迎えたことに感謝したい」と話された。この2日間は正にそう。何事も無く受験できて、そりゃもっとイイ点取りたかったけれど、今の私の全てが出せたと思う。そういえばY山が「目指せ日本一！」と1年のときから煩かったけれど、今の私は日本一かもしれない。逃げずに目をそらさずに受け止めて立ち向かってやり切ったから。そうそう。道はまだ半ば。だってセンターで決まる訳じゃない。次のステージは自己採点。ここを正確にやって出願を検討しなくっちゃ。だから落ち込んでいる場合じゃないし、終わったからと浮かれちゃいけない。受験して得た私の持ち点を最大限活かさないとバチがあたる。まずは2日間の問題冊子確認ね。地歴公民国語・英語・リスニング・理科基礎・数学IA・数学IIBとOK。あとは赤と黒のボールペンと電卓、鉛筆も必要だったわ。コレをすべてZIPファイルに入れてOK。自己採点後は時間があるって言うていたから午後は英語と国語の勉強をしよう。進路指導室で赤本も見よう。出願大学は決まっていなくても今日からの40日間は折り返しの後半戦。1日1時間の大切さをセンター試験で学んだ。そして、センター試験の反省を2次試験に活かしたい。そして将来、世のために尽くすことのできる人になる。そのための礎を築きたい。私の大学受験、私の高校生活はまだまだこれから！